

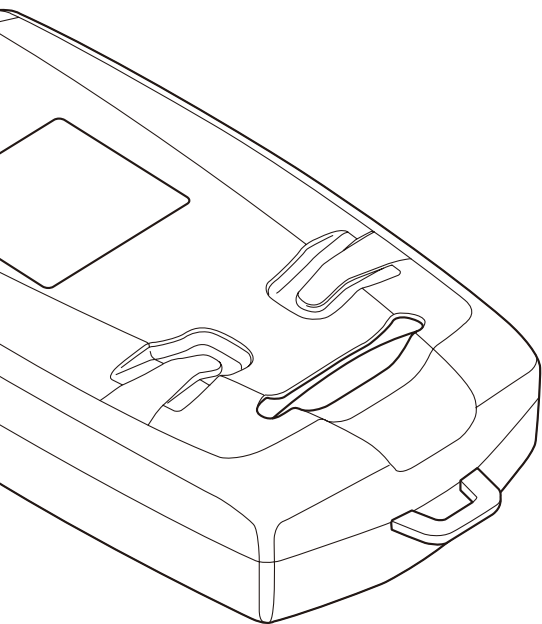
CARMATE

No.91G01A

リモコン エンジンスターター

TE-W73PSA

取扱説明書



もくじ

はじめに	4
注意事項の定義	4
TE-W73PSAの特長	5
安全にお使いいただくために	6
警告事項	6
注意事項	7
禁止事項	7
危険事項	8
参考事項	8
付属品の確認	9
使いかた	12
エンジンをかける	12
車両へ乗り込む	15
エンジンを止める	16
ドアをロックする	18
ドアをアンロックする	20
車の状態を確認する	22
設定のしかた	24
設定メニューについて	24
アイドリング時間(スターターが自動停止するまでの時間)の設定	25
キー操作モードの設定	26
リモコンのボタンをロックする(ボタン操作ロック機能)	27

取り付け時の設定	28
パーキングブレーキ検出の設定	29
イモビライザーデータの登録	30
イルミ検出の設定	32
お手入れ	33
リモコンの電池交換	33
故障かな?と思ったら	34
リモコンIDの再登録(混信、妨害電波によって通信が安定しないとき)	34
リモコンを無くしたとき	36
スターターでエンジンがかからないとき	37
エラー表示一覧	39
その他のトラブル	41
仕様	45

はじめに

このたびは、リモコンエンジンスターターTE-W73PSAをお買い上げいただき誠にありがとうございます。

この取扱説明書は、リモコンエンジンスターターTE-W73PSA(以下本製品という)をご使用いただくためのガイドブックです。

本製品は、一定の安全条件を満たしている場合に、遠隔操作により車のエンジンをスタート(ドアをロック/アンロック)させる装置です。

本製品を正しく安全にご使用いただくために、本書をよくお読みになり、内容を理解された上でご使用ください。

なお、誤った取付・取扱いや改造した場合での事故について、当社はその責任を一切負いません。

※本製品を使用中、取付車に盗難等の被害が発生しても当社はその責任を一切負いません。

注意事項の定義

本書の注意事項は、そのレベル、内容ごとにマークを設けています。

各々の定義(意味)を十分に理解された上で、お取り扱いください。



危険

重大事故が起こる状況のもの



警告

人体に対し、危険が生じる恐れのあるもの



注意

物品を破損、故障させる恐れのあるもの



禁止

法律に違反する恐れのあるもの



参考

取り付け、取扱いにおいて知っている则有益な情報

TE-W73PSAの特長

■トヨタ・スバル プッシュスタート車専用

トヨタやスバルのプッシュスタート車専用のリモコンエンジンスターターです。

純正モビライザーの機能を損なうことなく、エンジンスターターがお使いいただけます。

■多彩なアンサーバック機能

エンジン情報・ドアロック操作(※)・アイドリング残時間・車両バッテリー電圧をリモコンの液晶画面にデジタル表示します。

※ドアロック操作のアンサーバックは本製品のリモコンで行ったドアロックおよびドアアンロックの操作のみが反映されます。純正キーなどでドアロック/アンロックした場合のドアロック状態は反映されません。なお、ドアロックの操作には別途オプションが必要です。

■ドアロック機能(18ページ、20ページ参照)

本製品のリモコンで遠距離からでもドアロック(アンロック)が可能のため非常に便利です。

※ドアロック機能は別途オプションが必要です。また、車種によってはご使用いただくことができない場合があります。詳しくは店頭または当社WEBサイトの車種別ハーネス適合表等で確認してください。

■快適な通信性能

先進技術のRSC(Reed Solomon Code)デジタル補正により、通信距離の向上と建物の密集した場所での安定した通信を実現しました。

■誤操作防止機能(27ページ参照)

カバンやポケットの中での思わぬ誤操作を防ぐため、リモコンにボタン操作ロック機能を装備しました。

(1 KEYモード時のみ)

■自動停止機能(25ページ参照)

本製品によるエンジン始動後、一定時間経過すると自動的にエンジンが停止します。

■リトライ機能

一度の始動動作でエンジンがかからない場合でも、自動的に合計3回まで始動を試みますので厳冬期でも安心です。

■アイドリング延長機能(12ページ参照)

本製品によるエンジン始動中に再度スタート操作を行うことにより、アイドリング残時間が始動時と同じ時間に戻ります。

■スベアリモコン対応<別売>(36ページ参照)

標準装備のリモコンを紛失した場合、別売の補修用スベアリモコンが使用可能です。

※増設はできません。

■電波法適合品

本製品の特定小電力無線は日本国内の電波法に適合していますので安心してお使いいただくことができます。

■車検対応品

本製品は車検対応品です。

■寒冷地推奨品

本製品のメインユニットは-20℃でも動作可能なため、厳冬期でも安定した動作を実現します。

■安心の日本製で、信頼の3年保証

本製品は日本製。徹底した品質管理により、信頼の3年保証(リモコンは1年)を実現しました。

安全にお使いいただくために

本製品を安全にお使いいただき、お客様や周りの方、物への被害を防ぐため、必ずお読みください。

警告事項



警告

換気の良くない場所(ガレージ・立体駐車場・地下駐車場)で使用しないでください。排気ガスが充満して大変危険です。



警告

車にボディカバーを掛けただままで使用しないでください。火災の恐れがあります。



警告

マフラーが雪で埋もれた状態で使用しないでください。排気ガスが車内に充満する恐れがあります。また配線の損傷による車両火災の原因にもなりますので大変危険です。



警告

車の近くに燃えやすいものがないことを確認してから、ご使用ください。火災の恐れがあります。



警告

リモコンは、お客様の手が届かない場所に保管してください。誤操作による事故の恐れがあります。



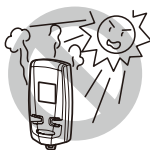
警告

お子様やペットなどを車内に残したまま、使用しないでください。事故の恐れがあります。



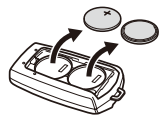
警告

リモコンは、直射日光の当たる場所・車内・暖房器具の近く等、高温になる場所で、保管または使用しないでください。リモコンが高温になり、やけどや故障の原因となります。特に、車のダッシュボード上は非常に高温となりますので、絶対に放置しないでください。



警告

車を他人に預ける時(整備に出す等)は、リモコンの電池を抜いておいてください。誤操作による事故の恐れがあります。



警告

運転中に本製品の操作をしないでください。事故の原因になります。



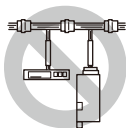
警告

リモコンの電池は、お客様の手の届かぬ場所に保管しないでください。誤操作の恐れがあります。

注意事項



ターボタイマー(スターター)や盗難警報機類との併用取り付けはしないでください。
誤作動の原因となります。



OBD II コネクターから車両と通信を行う機器とは併用しないでください。
誤作動の原因となります。



リモコンを床に落としたり硬いものにぶついたりしないでください。
故障の原因となり、リモコンでの操作ができなくなる場合があります。



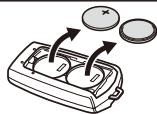
製品が汚れた場合は、薄めた中性洗剤をしみ込ませた布をよく絞ってから拭き、乾いた布でもう一度拭いてください。
ベンジン、シンナー等の化学薬品は、絶対に使用しないでください。変形・変色や故障の原因となります。



リモコンは直接水のかかる場所や湿気の多い場所で、保管または使用しないでください。
故障の原因となり、リモコンでの操作ができなくなる場合があります。



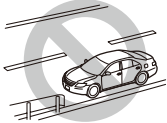
長時間使用しないときは、リモコンの電池を抜いておいてください。
故障の原因となります。



禁止事項



エンジンスターター機能は安全な場所でご使用ください。道路で使用すると違法となりますので、絶対に使用しないでください。



本製品は、特定小電力無線設備の技術基準適合証明を受けております。分解したり、改造することは、法律で禁じられておりますので、絶対にしないでください。



製品に貼付の技術適合証明ラベルをはがしたり、ラベルのないものを使用することは、法律で禁じられておりますので、絶対にしないでください。



本製品は、日本国内の電波法に適合しています。国外での使用は、違法となる場合がありますので、おやめください。



一部地域では、暖機運転以外の目的で使用すると条例違反となります。



This product is for use only in Japan.

危険事項

適合が明記されている車種以外には取り付けできません。

適合車種は、店頭または当社WEBサイトの車種別ハーネス適合表でご確認ください。



危険

マニュアル車には絶対に取り付けないでください。マニュアル車は、冬季にパーキングブレーキの凍結を防ぐため、パーキングブレーキをかけずにギアを「ロー」もしくは「バック」に入れ駐車する場合があります。また、坂道などに駐車する際にもギアを「ロー」もしくは「バック」に入れます。その状態でエンジンスターターを使用すると、無人走行の原因となり、大事故につながる恐れがあります。



危険

外車・特種用途自動車には、取り付けできません。



危険

年間を通じ、始動操作をして2秒程度でエンジンのかからない車には、取り付けできません。



危険

雨滴感応ワイパー装着車で、雨滴感応機能をOFFにできない車には、取り付けできません。取り付けたとすると車両故障の原因となります。

外車

特種用途自動車

2秒

参考事項



参考

電波到達距離は、周囲の環境や使用状況により異なります。車と送信場所との間に建造物等がある場合には、電波到達距離が短くなります。



参考

本製品の電波がアイドリング中のエンジンノイズの干渉を受け、作動距離が極端に短くなる場合があります。



参考

リモコンをTV、パソコンなどの近くで使用するとノイズの影響により通信距離が短くなる場合があります。その場合はノイズ発生源から離してお使いください。



参考

オートチルトおよびマイコンプリセットステアリング装着車は、本製品でエンジン始動した時に、オートチルトおよびマイコンプリセットが作動しなくなる場合があります。



参考

エンジンスターターでのアイドリング中は、純正スマートキーでドアロック/アンロックができなくなる場合があります。その際は、本製品のドアロック機能（別売のオプションが必要）や純正スマートキー内蔵のメカニカルキーを使うか、一度エンジンを停止してから純正スマートキーのドアロック/アンロックを行ってください。



参考

リモコンを低温になる場所に置いておくと、一時的に電池電圧が低下して液晶やバックライトの表示が薄くなることがありますが、常温になれば元に戻ります。



参考

本製品の近くで大出力の無線機等を使用すると、無線機の発する電磁波により、誤作動や未作動の原因となる場合があります。



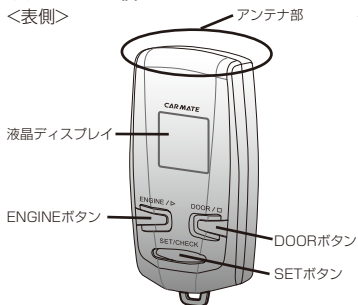
参考

オートライト機能装着車は、オートライト機能をONにして本製品を作動させると、オートライト機能が正常に作動しない場合やエンジンがかからない場合、一度点灯したヘッドライトが消灯しない場合があります。その場合は、TE204オートライト車対応コードを使用するか、ライトスイッチをOFFの位置にご使用ください。

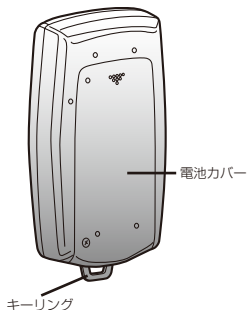
付属品の確認

●リモコン 1個

<表側>



<裏側>



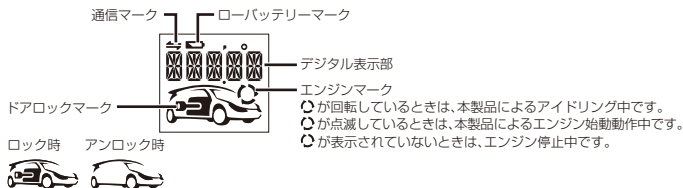
参考 アンテナ部に触れた状態で操作すると著しく通信距離を縮めますのでご注意ください。

ご注意

- リモコンは水に濡らしたり濡れた手で操作しないでください。水濡れシールが反応していた場合、修理できないことがあります。



●リモコン(液晶ディスプレイ)



メモ

ドアロック機能を利用するには別途アダプター等が必要です。

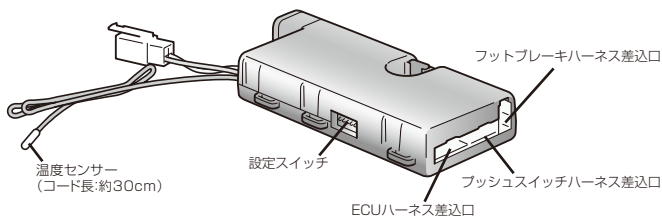
メモ

純正キー(純正キーレス)などでドアロック/アンロックした場合、本製品のリモコンの液晶ディスプレイにはドアのロック状態は反映されません。

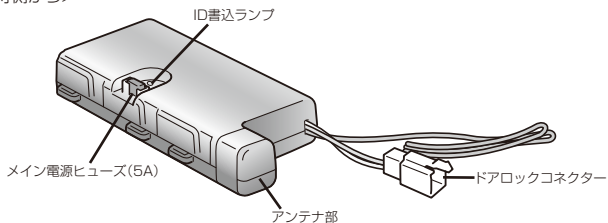
●本体(メインユニット)

1個

<正面から>

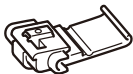


<反対側から>



●その他の付属品

・ワンタッチコネクタ 2個



フットブレーキの配線に使用します。

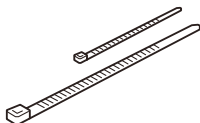
・危険シール 1枚



エンジンルーム内の目立つ場所に貼ります。

・結束バンド(小) 3本

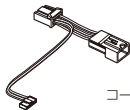
・結束バンド(大) 1本



コードを束ねたり、本体の固定に使用します。

●ハーネス類

・ブッシュスイッチハーネス 1個



コード長:約1m

・サイドブレーキ検出コード 1個



コード長:約1.1m

・フットブレーキハーネス 1個



コード長:約50cm

※ 付属品やハーネス類の外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

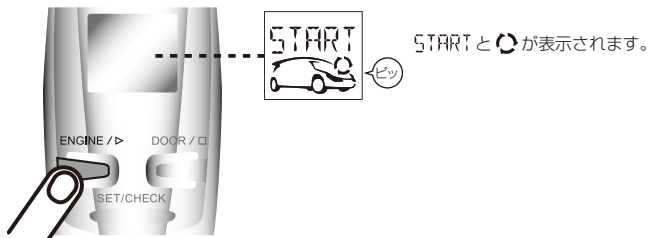
使いかた

エンジンをかける

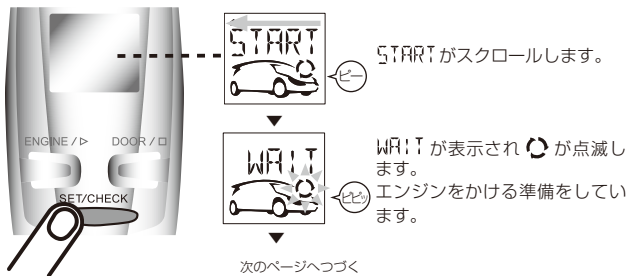
- すでにリモコンを使ってエンジンがかかっているときにこの操作をすると、アイドリングの残り時間がリセットされ、再びカウントダウンを開始します。(アイドリング延長機能)
- 環境に配慮し、不必要なアイドリングの延長はおやめください。

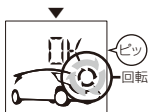
標準設定の場合 設定を変更した場合の操作方法は14ページ参照

1 すべてのドアを閉め、[ENGINE] ボタンを押す



2 START が表示されている間に、[SET] ボタンを押す





エンジンがかかりました。

メモ このとき、ドアロック状態【**【設定】**ドアロック機能 18ページ】も表示されますが、これは本製品が最後に行ったドアロック操作を示すもので、純正キーなどで行ったドアロック操作は反映されませんのでご注意ください。

メモ 30秒以上たっても「OK」と表示されないときは、エンジンがかかっていない可能性があります。もう一度 **1** から操作し直してください。



アイドリングの残り時間が表示されます。



車内温度が表示されます。

メモ 車内温度は付属の温度センサー先端部の温度です。車両純正の温度計の表示とは一致しません。

■ 注意:アイドリング中の車両動作について

- ・本製品でエンジンを始動した後、そのまま走り出すことはできません。一旦エンジンを停止してから、車両本来の方法でエンジンをかけ直す必要があります。
- ・本製品を使ってアイドリングをしている間は、車のスマートキーや純正キーレスエントリーが使えません。本製品のドアロック機能や、車のメカニカルキーでドアロック/アンロックをしてください。
- ・本製品でのアイドリング中に次の操作をすると、エンジンが停止します。
 - ・車両のフットブレーキが踏まれたとき。
 - ・車両のドアを開けたとき。
 (本製品の「イルミ検出」を「検出する」に設定している場合。32ページ参照)

メモ 本製品でエンジンをかけている場合は、本体から「ビップビップ…」(1秒間隔)と音が鳴ります。リモコンにエラーが表示されるときは、【**【設定】**エラー表示一覧 39ページ】を参照して対処してください。



通信エラー表示

次のページへ

手順 1～2 の操作方法をカスタマイズすることができます。

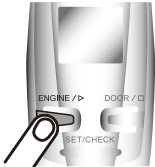
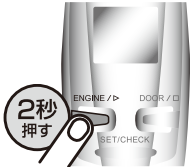
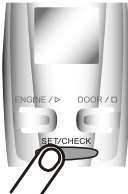
この操作をするためには、あらかじめ設定が必要です。【リモコンキー操作モードの設定 24ページ・26ページ】

KEY操作モードの設定とは

エンジンスタート、エンジnstop、ドアロック、ドアアンロックなどの操作方法を好みに応じてカスタマイズできます。

※ 不意の誤操作を極力低減させたい方には「2KEY」を、少ないキータッチでよりダイレクトに操作をしたい方には「1KEY」をおすすめします。

エンジンスタート操作一覧

	2KEY ドアロック機能ON (標準設定)	2KEY ドアロック機能OFF	1KEY ドアロック機能ON	1KEY ドアロック機能OFF
手順 1	[ENGINE]を押す 		[ENGINE]を2秒以上押す  2秒押す 手順 2 は不要です	
手順 2	[SET]を押す 		—	

ご注意

「1KEY ドアロック機能ON」に設定されている場合、[ENGINE] ボタンが短く押されると、エンジンを停止する操作になります。

【リモコンキー操作モードの設定 26ページ】

正常に通信できない場合、次のようなことが考えられます。

- リモコンから電波を送る時、周囲で同じ周波数帯の電波が飛んでいる。 ▶ 時間を置いてもう一度操作してください。
- リモコンから電波を送る時、本体もリモコンへ電波送信している。 ▶ 時間を置いてもう一度操作してください。
- 車から離れていて電波が届かない。 ▶ 車に近付いてもう一度操作してください。

車両へ乗り込む

プッシュスタート車では、本製品によるアイドリング中やアイドリング停止後に、純正スマートキーのドアロック機能やスマートエントリー機能が使用できなくなる場合があります。その場合は、以下の方法を参照して車両へ乗り込んでください。

参考 スマートエントリー機能とは、純正のスマートキーを持って、車両のドアハンドル付近のスイッチ、もしくはセンサーで車両のドアロック/アンロックをする機能のことです。

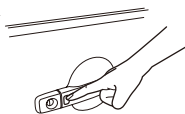
1 本製品によるアイドリング中に、純正スマートキーのボタンが使用できない場合



▶ 次のいずれかの方法で車両へ乗り込んでください。

- ・ 本製品のリモコンでエンジンを止めた後、純正スマートキーのボタンを使ってドアをアンロックする。
- ・ 本製品のリモコンでエンジンを止めた後、下記の**2**を参照して、純正スマートエントリー機能を使用して、ドアをアンロックする。(スマートエントリー機能装着車のみ)
- ・ 純正スマートキーに内蔵されているメカニカルキーを使用して、ドアをアンロックする。
- ・ 本製品のドアロック機能を使用して、ドアをアンロックする。
※ ドアロック機能を使用するには別売オプションが必要です。

2 本製品でアイドリングし、エンジンが停止した後に、純正スマートエントリー機能が使用できない場合



▶ 以下の手順で車両へ乗り込んでください。

- 1) エンジン停止後に、スマートエントリー機能のドアロック操作を行います。
- 2) その後3秒以上待ってからスマートエントリー機能のアンロック操作を行ってドアをアンロックします。

エンジンスターターを使った後、そのまま走り出すことができない？

本製品は、乗り逃げ防止などの安全上の理由で、エンジン始動後にそのまま走り出すことができないように設計されています。

車を走行させる際には、車両本来の方法でエンジンをかけ直してください。

エンジンを止める

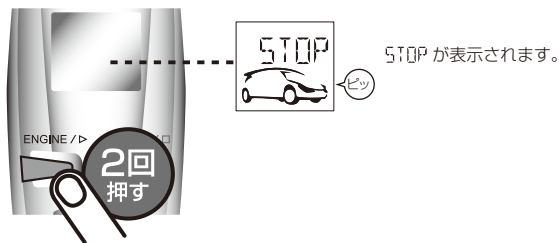
- この操作では、本製品でエンジンをかけた場合にだけエンジンを止められます。

【注意】

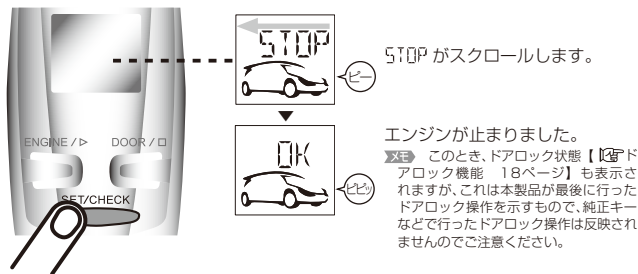
- 車両本来の方法（エンジンスイッチ）でエンジンをかけているときは、この操作でエンジンを止められません。

標準設定の場合 設定を変更した場合の操作方法は17ページ参照

1 [ENGINE] ボタンを2回押す



2 STOP が表示されている間に、[SET] ボタンを押す








手順 1～2 の操作方法をカスタマイズすることができます。
この操作をするためには、あらかじめ設定が必要です。【リモコンキー操作モードの設定 24ページ・26ページ】

KEY操作モードの設定とは

エンジンスタート、エンジンストップ、ドアロック、ドアアンロックなどの操作方法を好みに応じてカスタマイズできます。

- ✖E 不意の誤操作を極力低減させたい方には「2KEY」を、少ないキータッチでよりダイレクトに操作をしたい方には「1KEY」をおすすめします。
- ✖E ドアロック機能対応のアダプターを取り付けていない方は「ドアロック」機能をOFFにすることで、[DOOR]ボタンをエンジンストップの操作に割りあてることができます。

	2KEY ドアロック機能ON (標準設定)	2KEY ドアロック機能OFF	1KEY ドアロック機能ON	1KEY ドアロック機能OFF
手順 1	[ENGINE]を2回押す 	[DOOR]を押す 	[ENGINE]を押す 	[DOOR]を2秒以上押す 
手順 2	[SET]を押す 		—	

ご注意

「1KEY ドアロック機能ON」に設定されている場合、[ENGINE] ボタンを2秒以上押し続けると、エンジンをスタートする操作になります。【リモコンキー操作モードの設定 26ページ】

- ✖E リモコンにエラーが表示されるときは、【リモコンエラー表示一覧 39ページ】を参照して対処してください。



通信エラー表示

ドアをロックする

- 本機能は、ドアロックコード(別売)やドアロック対応のアダプター(別売)が配線済みのドアロック適合車種で使用できます。

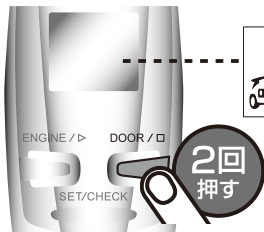
注意

- 車両本来の方式(エンジンスイッチ)でエンジンをかけているときに、この機能は使えません。

標準設定の場合 設定を変更した場合の操作方法は19ページ参照

1 車両のドアがすべて閉じられていることを確認する

2 [DOOR] ボタンを2回押す

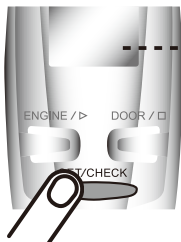


LOCKとが表示されます。

注意

この表示は本製品内部の制御内容を示すものです。実際の車両のドアの状態とは必ずしも連動していません。

3 LOCKが表示されている間に、[SET] ボタンを押す



LOCKがスクロールします。



ロックされました。

メモ の表示は以下を意味します。

○(回転): 本製品によるアイドリング中

○(点滅): 本製品によるエンジン始動動作中

表示なし: エンジン停止中

4 すべてのドアが正しくロックされているか確認する

手順 2~3 の操作方法をカスタマイズすることができます。




この操作をするためには、あらかじめ設定が必要です。【[1KEYキー操作モードの設定 24ページ・26ページ](#)】

KEY操作モードの設定とは

エンジンスタート、エンジンストップ、ドアロック、ドアアンロックなどの操作方法を好みに応じてカスタマイズできます。

XE 不意の誤操作を極力低減させたい方には「2KEY」を、少ないキータッチでよりダイレクトに操作をしたい方には「1KEY」をおすすめします。

XE ドアロック機能対応のアダプターを取り付けていない方は「ドアロック」機能をOFFにすることで、[DOOR]ボタンをエンジンストップの操作に割りあてることができます。

	2KEY ドアロック機能ON (標準設定)	2KEY ドアロック機能OFF	1KEY ドアロック機能ON	1KEY ドアロック機能OFF
手順 1	[DOOR]を2回押す 	ドアロック機能がOFFに設定されている間は、ドアをロックする操作は行えません。	[DOOR]を押す 	ドアロック機能がOFFに設定されている間は、ドアをロックする操作は行えません。
手順 2	[SET]を押す 	—	—	—

ご注意

1KEYに設定されている場合、[DOOR] ボタンを2秒以上押し続けると、ドアをアンロックする操作になります。【[1KEYキー操作モードの設定 26ページ](#)】

- XE** リモコンにエラーが表示されるときは、[【1KEYエラー表示一覧 39ページ】](#)を参照して対処してください。



通信エラー表示

■ 純正キーレスよりドアロックの反応が遅い？

本製品は、「特定小電力無線」を使用しているため、遠距離からでもドアロック操作を行うことができます。

「特定小電力無線」は電波の送信時に周囲の電波状況を確認することが電波法で義務づけられています。そのため、純正のキーレスより操作後の反応が遅く感じる場合があります。

ドアをアンロックする

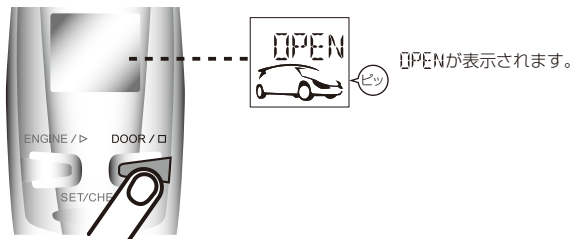
- 本機能は、ドアロックコード(別売)やドアロック対応のアダプター(別売)が配線済みのドアロック適合車種で使用できます。

【注意】

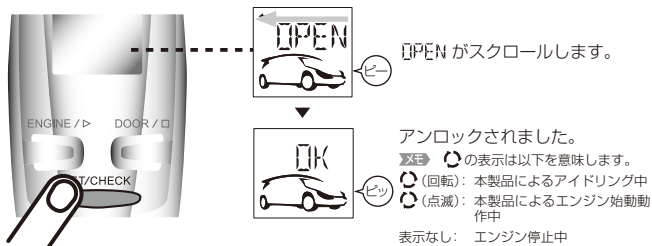
- 本製品によるアイドリング中に車両のドアを開けると、自動でエンジンが停止する場合があります。その様な車両の場合、本製品の設定を変更することで、ドアを開けてもエンジンが停止しないように設定することができます。(32ページ参照)
- 純正キーレスエントリーにドアの自動再ロック機能が付いている車種では、本製品のリモコンでアンロックした場合に、自動再ロック機能が働かないことがあります。

標準設定の場合 設定を変更した場合の操作方法は21ページ参照

1 [DOOR] ボタンを押す



2 OPEN が表示されている間に、[SET] ボタンを押す



手順 1～2 の操作方法をカスタマイズすることができます。
この操作をするためには、あらかじめ設定が必要です。【1KEY操作モードの設定 24ページ・26ページ】

KEY操作モードの設定とは

エンジンスタート、エンジンストップ、ドアロック、ドアアンロックなどの操作方法を好みに応じてカスタマイズできます。

❗ 不意の誤操作を極力低減させたい方には「2KEY」を、少ないキータッチでよりダイレクトに操作をしたい方には「1KEY」をおすすめします。

❗ ドアロック機能対応のアダプターを取り付けていない方は「ドアロック」機能をOFFにすることで、[DOOR]ボタンをエンジンストップの操作に割りあてることができます。

	2KEY ドアロック機能ON (標準設定)	2KEY ドアロック機能OFF	1KEY ドアロック機能ON	1KEY ドアロック機能OFF
手順 1	<p>[DOOR]を押す</p> 	<p>ドアロック機能がOFFに設定されている間は、ドアをアンロックする操作は行えません。</p>	<p>[DOOR]を2秒以上押す</p>  <p>手順 2 は不要です</p>	<p>ドアロック機能がOFFに設定されている間は、ドアをアンロックする操作は行えません。</p>
手順 2	<p>[SET]を押す</p> 	—	—	—

ご注意

1KEYに設定されている場合、[DOOR] ボタンが短く押されると、ドアをロックする操作になります。【1KEY操作モードの設定 26ページ】

❗ リモコンにエラーが表示されるときは、【1KEYエラー表示一覧 39ページ】を参照して対処してください。



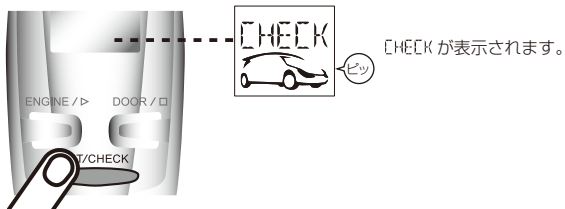
通信エラー表示

車の状態を確認する

- 車がアイドリング中なのか、エンジンが停止しているか等を確認できます。

標準設定の場合 設定を変更した場合の操作方法は23ページ参照

1 [SET] ボタンを押す



2 〔CHECK〕が表示されている間に、もう一度〔SET〕ボタンを押す



本製品による
アイドリング中の
とき

アイドリングの
残り時間



車内温度



バッテリー電圧



エンジンが
停止中のとき

STOP



車内温度



バッテリー電圧



エンジンが
始動動作中のとき



ⓧE ④の表示は以下を意味します。

④ (回転): 本製品による
アイドリング中

④ (点滅): 本製品による
エンジン始動動作中

表示なし: エンジン停止中

ⓧE ドアロック状態【 ドアロック機能 18ページ】も表示されます。



ロック時



アンロック時

これは本製品が最後に行ったドアロック操作を示すもので、純正キーなどで行ったドアロック操作は反映されませんのでご注意ください。

■■■■ 手順 1~2 の操作方法をカスタマイズすることができます。
この操作をするためには、あらかじめ設定が必要です。【 キー操作モードの設定 24ページ・26ページ】

KEY操作モードの設定とは

エンジンスタート、エンジンストップ、ドアロック、ドアアンロックなどの操作方法を好みに応じてカスタマイズできます。

ⓧE 不意の誤操作を極力低減させたい方には「2KEY」を、少ないキータッチでよりダイレクトに操作をしたい方には「1KEY」をおすすめします。

	2KEY ドアロック機能ON (標準設定)	2KEY ドアロック機能OFF	1KEY ドアロック機能ON	1KEY ドアロック機能OFF
手順 1	<p>[SET] を2回押す</p>		<p>[SET] を押す</p>	

ご注意

1KEYに設定されている場合、[SET] ボタンを2秒以上押し続けると、リモコンのボタンをロックする操作になります。

【 キー操作モードの設定 26ページ】

【 リモコンのボタンをロックする 27ページ】

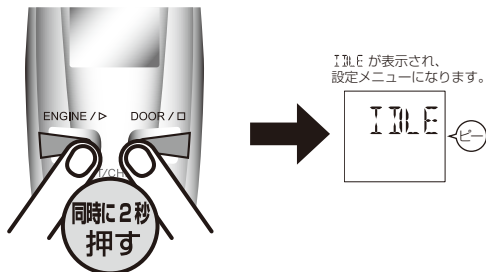
設定のしかた

設定メニューについて

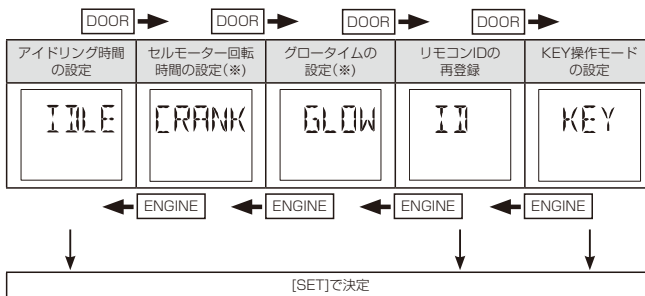
エンジンスターターの各種設定が、リモコンから設定できます。

☞参考 途中で設定を中止する時は、15秒間、何も操作せずにお待ちください。

1 [ENGINE]ボタンと[DOOR]ボタンを同時に2秒以上、押します。



2 [ENGINE]または[DOOR]ボタンを押して設定する項目を選び、[SET]ボタンで決定します。



(※) 設定を変更しようとする時「Err99」が表示されます。
本製品では車両や本体で自動制御するため、リモコンからのセルモーター回転時間とグロータイムの設定に対応していません。

3 [ENGINE]または[DOOR]ボタンを押して設定を変更し、[SET]ボタンで決定します。

アイドリング時間の設定	セルモーター回転時間の設定	グロータイムの設定	リモコンIDの再登録	KEY操作モードの設定
設定時間を選択 5/10/15/20/ 25/30分	車両側で自動制御するため設定を変更できません。	本体で自動制御するため設定を変更できません。	本体をID書込モードにする必要があります。 「リモコンIDの再登録」を参照してください。	操作設定を選択 2KEYドアロックON /2KEYドアロックOFF /1KEYドアロックON /1KEYドアロックOFF
25ページ参照			34ページ参照	26ページ参照

↓ ↓

[SET]で決定

アイドリング時間(スターターが自動停止するまでの時間)の設定

本製品でエンジンをかけてそのまま放置していると、一定時間経過後に自動的にエンジンが停止します。本設定では、エンジン停止までの時間を設定できます。

- メモ** 環境に配慮し、不必要なアイドリングはおやめください。
- メモ** 詳しい設定方法は、24ページを参照してください。

●設定内容

ENGINE	設定時間	DOOR
時間を短く ↓	30分	↑ 時間を長く
	25分	
	20分	
	15分(標準設定)	
	10分	
	5分	

キー操作モードの設定

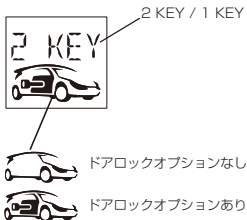
本製品には、通常の操作手順より少ないキータッチで操作できる「1 KEY」モードがあります。必要に応じて設定を変更してください。

メモ 不意の誤操作を極力低減させたい方には「2 KEY」モードを、少ないキータッチでよりダイレクトに操作をしたい方には「1 KEY」モードをおすすめします。

メモ 詳しい設定方法は、24ページを参照してください。

●設定内容

キー操作モード
2 KEY ドアロック機能ON(標準設定)
2 KEY ドアロック機能OFF
1 KEY ドアロック機能ON
1 KEY ドアロック機能OFF



リモコンのボタンをロックする(ボタン操作ロック機能)

ポケットやカバンにリモコンを入れているときなどに、誤ってボタンが押されて本製品が動作してしまうことを防ぐため、リモコンのボタン操作を無効にできます。

 **参考** 本機能は、キー操作モードを「1 KEY」モードに設定している場合に限り有効です。(26ページ参照)

1 [SET] ボタンを2秒以上、押す



これでリモコンのボタン操作が無効になりました。

2 ボタン操作を可能にするときは、もう一度[SET] ボタンを2秒以上、押す

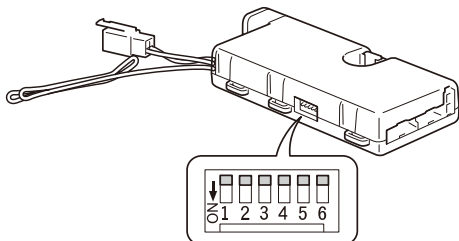


これでボタン操作が可能になりました。

取り付け時の設定

- 本体の設定スイッチを切り替えて、本製品の機能や動作条件などを設定します。

参考 この設定は取り付け時にだけ行ってください。不用意に設定を変更すると、本製品が正常に動作しなくなることがあります。



設定スイッチ(標準設定)

スイッチ番号	設定項目	参照ページ
1	パーキングブレーキ検出の設定	29
2	車種設定	30
3		
4		
5	イルミ検出の設定	32
6	ID書込	34

パーキングブレーキ検出の設定

パーキングブレーキ(サイドブレーキ)がかかっていないときに、本製品でエンジンが始動できないように設定できます。

- ▶ **メモ** 寒冷地などでパーキングブレーキ(サイドブレーキ)をかけずに駐車する場合は、この機能は使用しないでください。(「検出しない」に設定してください。)
- ▶ **メモ** パーキングブレーキ検出機能を使用するときは、市販のワンタッチコネクターを使って、あらかじめサイドブレーキ検出コードを接続してください。(別紙「取付マニュアル」参照)

●設定内容

スイッチ1の設定	パーキングブレーキ検出
上(OFF)	検出しない(標準設定)
下(ON)	検出する

イモビライザーデータの登録

次のような場合は、車両純正キーのイモビライザーデータを登録する必要があります。

- ・初めて本製品を取り付けたとき
- ・本体を取り付け直したとき
- ・バッテリーを交換したとき(端子を外したとき)

参考 イモビライザーとは？

車両盗難防止装置の一種です。キーに内蔵された電子チップが持つIDコードと、車両側のコンピュータが持つIDコードが一致しないと、エンジンが始動できない仕組みになっています。万一マスターキーと同じ溝を持つスペアキーを作られてエンジンをかけようとした場合でも、エンジンはかからないため、乗り逃げ防止に高い効果があります。


1 すべての配線が完了した状態で、本体のID書込ランプが約1秒間隔で点滅していることを確認する

※ID書込ランプが常に点灯している場合は本体の設定スイッチ6がONになっていないか確認してください。

※ID書込ランプが点滅しない場合は、フットブレーキハーネスを本体から一旦引抜き、15秒以上経過後、再び本体に接続してください。

2 本体の設定スイッチの状態(車種設定)を確認する

 通常は標準設定(通常)のまま使用してください。

 店頭または当社WEBサイトの「車種別ハーネス適合表」や当社WEBサイトの「車種別配線情報(ビットマニュアル)」に設定方法が記載されている車種のみ、設定を変更してください。

 参考 正しく設定しないと、リモコン操作で正常にエンジンがかからない場合があります。


●設定内容

スイッチ2の設定	スイッチ3の設定	スイッチ4の設定	車種設定
上(OFF)	上(OFF)	上(OFF)	通常(標準設定)
下(ON)	上(OFF)	上(OFF)	特殊1
上(OFF)	下(ON)	上(OFF)	特殊2
下(ON)	下(ON)	上(OFF)	特殊3

3 純正のスマートキーを車内に持ち込み、ドアを一旦閉め、車両本来の方法（エンジンスイッチ）でエンジンを始動する

<イモビライザーデータが正しく登録されると…>
本体のID書込ランプが3回点滅してから消灯します。

4 車両のエンジンを停止する

 **参考** 車種設定を誤った状態でイモビライザーデータを登録してしまうと、正しくエンジンがかかりません。その場合は、フットブレーキハーネスを一旦抜き、15秒経過後、再び本体に接続して登録データを消去してから、再度車種設定をし直し、データを登録してください。

イルミ検出の設定

ヘッドライトが点灯していたり、ドアが開いたりしているときでも、本製品でエンジンを始動できるように設定できます。

- ▶ **メモ** 別売のオートライト車対応コードを接続したときは、この設定を「検出しない」に設定してください。(別紙「取付マニュアル」参照)
- ▶ **メモ** 「検出しない」に設定することで、本製品でのアイドル中に車両のドアを開けてもエンジンが停止しないようにすることができます。
- ▶ **メモ** 「検出しない」に設定していても、乗り逃げ防止のため、車両のフットブレーキが踏まれるとエンジンが停止します。走行前に、車両本来の方法でエンジンをかけ直してください。

●設定内容

スイッチ5の設定	イルミ検出
上(OFF)	検出する(標準設定)
下(ON)	検出しない

イルミ検出の設定を「検出しない」に設定すると可能になること

・車両のオートライト機能をONにした状態でも本製品でエンジン始動が可能になります。

⚠ **注意** 車種によっては、別売のオートライト車対応コードが必要です。
オートライト車対応コードを接続せずに本製品でエンジン始動するとエンジン停止後もヘッドライトが消灯しません。

・本製品でエンジン始動中に、ヘッドライトや車幅灯が点灯してもエンジンが停止しません。

・本製品でエンジン始動中に、ドアやバックドア(車種によってはドアのみ)が開いても、エンジンが停止しません。

お手入れ

リモコンの電池交換

リモコンの送信距離が短くなったり操作できなくなったり、液晶表示が暗くなってきたときは、リモコンの電池が消耗しています。新しい電池(CR2025×2個)に交換してください。

メモ リモコンを操作したときの液晶画面に右図のアイコンやメッセージが表示されたら、電池の交換時期です。



電圧低下を表しています。

メモ 電池の寿命は約1年です。

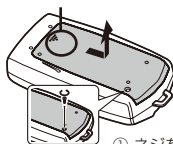
メモ 製品出荷時に内蔵されている電池はモニター用電池のため、上記の寿命より短いことがあります。

注意 必ず新しい電池2個と交換してください。新しい電池と古い電池を同時に使用すると、液漏れなどの原因になります。

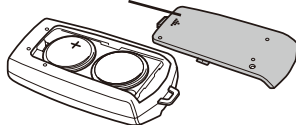
1 電池カバーを外す

② 押しながらスライド

③ 電池カバーを外す



① ネジを外す



2 電池を交換し、元どおり電池カバーをはめる

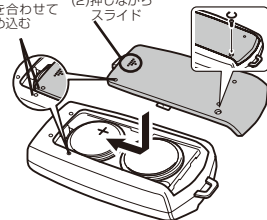
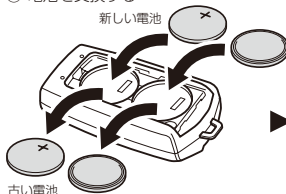
① 電池を交換する

② 電池カバーをはめる

(1)印を合わせてはめ込む

(2)押しながらスライド

③ ネジをしめる



故障かな?と思ったら

リモコンIDの再登録(混信、妨害電波によって通信が安定しないとき)

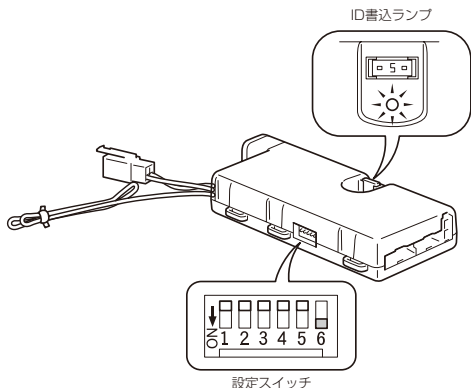
スペアリモコンの購入時などは、リモコンのIDを本体に登録する必要があります。また、このID登録手順で通信周波数チャンネルを切り替えることにより、通信が安定する場合があります。

登録方法は、本製品の本体設定スイッチを使う方法のほかに、車両のエンジンスイッチを使う方法があります。車両のエンジンスイッチを使う方法は36ページをご覧ください。

- メモ 作業前に必ずエンジンを止めてください。また、本体の発する音を聞き逃さないため、オーディオ、エアコンなど音の出る装置を止めることをおすすめします。
- メモ 作業は2分以内に完了してください。

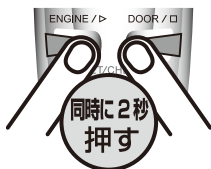
1 本体の設定スイッチ6を下側にする

本体のID書込ランプが点灯して、ID書込モードになります。

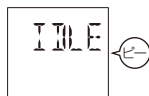


次のページへ

2 [ENGINE] ボタンと [DOOR] ボタンを同時に2秒以上、押す



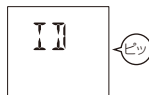
IDLEが表示されます。



3 [DOOR] ボタンを3回押して [I] を表示させる

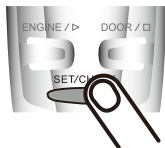


[I]が表示されます。

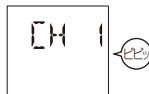


4 [SET] ボタンを押す

現在の通信周波数チャンネル(CH1～CH6)が表示されます。



現在の通信周波数チャンネルが表示されます。



通信が成立すると

5 [ENGINE] または [DOOR] ボタンを押して通信周波数チャンネルを切り替える

メモ 通常は設定を変更する必要はありません。

メモ 周囲に同じ周波数帯の電波が飛んでいる場合は、通信周波数チャンネルを変更することで、通信が安定することがあります。

6 [SET] ボタンを押す


設定が保存され、リモコンから  と音が鳴ります。

7 本体の設定スイッチ6を上側に戻す

これで設定は完了です。

34ページの手順**1**の代わりに、車両のエンジンスイッチを使ってID書込モードにすることができます。

1 車両のエンジンスイッチを1回押してアクセサリーをONにする

 **参考** エンジンがかけないでください。
(フットブレーキは踏まずにエンジンスイッチの操作を行ってください)

2 車両のエンジンスイッチを2回押してイグニッションをOFFにする

3 手順**1**、**2**をさらに**1**→**2**→**1**と繰り返す


■ <2回目にアクセサリーがONになると…>

■ 本体から「ピッ」と音がします。

■ <3回目にアクセサリーがONになると…>

■ 本体から「ピ——」と長い音が鳴り、本体のID書込ランプが点灯します。

▼
35ページの手順**2**～**6**を行ってください。

 **メモ** 車両のエンジンスイッチを使ってID書込モードにした場合、35ページの手順**7**は不要です。

リモコンを無くしたとき

リモコンを紛失したときは、別売の補修用スペアリモコン
(品番:TER-W7300(カラー:ブラックシルバー))をお買い求めください。

 **メモ** 登録できるリモコンは1台だけです。リモコンの増設はできません。

スターターでエンジンがかからないとき

必ず下記の手順に従って確認作業を行ってください。

1 リモコンの電池の状態を確認する

- ・リモコンの電池は正しく入っていますか？
- ・リモコンの電池が消耗していませんか？
- ・リモコンの水濡れシールが反応していませんか？(9ページ参照)

メモ リモコンを操作したときに、液晶ディスプレイに右図のように表示されたら電池の交換時期です。新しい電池に交換してください。(33ページ参照)

電圧低下を表しています。



2 車両の状態を確認する

- ・車種のセレクトレバーがパーキング(Pレンジ)に入っていますか？
- ・車幅灯やヘッドライトが点灯していませんか？
- ・ドアやバックドアが開いていたり、半ドアになっていませんか？

メモ イルミ検出の設定を「検出しない」にしている場合は、車両の車幅灯やヘッドライト、ドアの状態の検出は無視されます。

3 取付車種および車種別専用ECUハーネス品番などを確認する

- ・取付車種が本製品の取付不可車種になっていませんか？
(店頭または当社WEBサイトの車種別ハーネス適合表等で確認してください。)
- ・車種別専用ECUハーネスの品番が合っていますか？
(店頭または当社WEBサイトの車種別ハーネス適合表等で確認してください。)
- ・アースコード(黒)の接続は正常ですか？ゆるみ等はありませんか？樹脂パーツなどに固定していませんか？

4 車両本来の方法(エンジンスイッチ)でエンジンがかかるかどうか確認する

エンジンがかからない場合

- ・ブッシュスイッチハーネスや車種別専用ECUハーネスが正しく接続されているかどうか確認してください。

エンジンがかかる場合

- ・フットブレーキハーネスが正しく接続されているかどうか確認してください。
- ・本体設定スイッチの車種設定が間違っていないかどうか確認してください。(30ページ参照)
- ・本本体およびフットブレーキハーネスのヒューズが切れていないかどうか確認してください。

5 通常待機時の本体のID書込ランプの発光状態を確認する

ランプの状態	原因・対処方法
ランプが消えたままになっている	通常の受信待機中です。 手順 6 に進んでください。
点滅している	車両純正キーのイモビライザーデータが登録されていません。車両のエンジンスイッチでエンジンを始動して、イモビライザーデータを読み込んでください。(30ページ参照)
ずっと点灯し続ける	ID書込モードになっています。本体の設定スイッチ6がONになっている場合は、OFFに切り替えてください。 本体の設定スイッチがOFFになっている場合は、本体から専用ハーネスを一旦抜き、数秒経過してから再び差し込んでください。

6 リモコンでエンジンスタートの操作を行い、リモコンの液晶ディスプレイと、本体のID書込ランプの発光状態およびブザー音の状態を確認する

本製品にはエンジンの始動ができない原因を自己診断して、リモコンの液晶ディスプレイにエラーNo.を表示し、さらに本体のID書込ランプとブザー音によって知らせる機能があります。









操作方法





リモコンでエンジンスタートの操作をしてください。(12ページ参照)
その時、本体から鳴るブザーの音(エラー表示)を確認してください。
エラー表示一覧は、次ページを参照してください。

参考 車両のすぐ近くで操作しても通信ができない(操作後10秒程度でリモコンの液晶ディスプレイに「Err99」と表示され、「ブブブ」と音がする)場合は、34ページ「リモコンIDの再登録」の操作を行ってください。それでも改善しないときは、本体からフットブレーキハーネスを外して15秒程度待ってからもう一度接続し、再度34ページ「リモコンIDの再登録」の操作を行ってください。

エラー表示一覧

- =短いブザー音とLEDの点灯 ■ =長いブザー音とLEDの点灯

リモコンの表示	ブザー音とLEDの状態	原因・対処方法
	●●●■ ●●●■	● P検出エラー シフトノブが「P」以外の位置になっていないか確認してください。
	●●●● ●●●●	● フットブレーキ検出エラー フットブレーキが踏まれていたり、フットブレーキハーネスの配線が誤っていないか確認してください。
	●●■■■■ ●●■■■■	● パーキングブレーキ検出エラー パーキングブレーキ検出を使用しない場合は、本体の設定スイッチ1(パーキングブレーキ検出)が「検出しない」(OFF側)になっているかどうか確認してください。 パーキングブレーキ検出を使用する場合は、サイドブレーキ検出コードの配線が誤っている可能性があります。サイドブレーキ検出コードの配線を確認してください。
	●●●●■ ●●●●■	● バッテリー容量エラー 車両バッテリーの電圧が低く、セルモーターを回せません。車両のバッテリーを充電してください。(バッテリー上がりを未然に防ぐための機能です)
	●■■■■● ●■■■■●	● 始動判断エラー1(始動判断できない) セルは回るが、エンジンがスタートしない場合 各ハーネスの配線が誤っている可能性があります。各ハーネスの接続を確認してください。
	なし	● イグニッションエラー 車両のエンジンスイッチが「ACC」またはイグニッション「ON」になっています。エンジンスイッチを「OFF」にしてください。
	■■■■● ■■■■●	● スリープモード 14日以上エンジン始動や、リモコンから通信操作を行わなかった場合は、スリープモードに入るためエンジンスタートができません。 車両本来の方法で一度エンジンをかけてスリープモードを解除してください。
	■■■■● ■■■■●	● イルミ検出エラー ドアが開いていないか、車幅灯やヘッドライトのスイッチがONになっていないか確認してください。 イルミ検出を使用しない場合は、本体の設定スイッチ5(イルミ検出)を「検出しない」(ON側)に設定してください。(32ページ参照)

リモコンの表示	ブザー音とLEDの状態	原因・対処方法
		<p>●イモビライザー登録エラー 車両純正キーのイモビライザーデータが本体に正しく登録されていません。30ページを参照の上、イモビライザーデータの登録をしてください。</p>
	なし	<p>●送信エラー 何らかの原因により、リモコンから電波を送信できませんでした。(14ページ参照) 改善しない場合は34ページを参照して、通信周波数チャンネルを変更してみてください。</p>
	なし	<p>●通信エラー 何らかの原因により、リモコンと本体間の通信が成立しませんでした。(14ページ参照)</p>

上記以外のエラーコードが表示される場合は、当社サービスセンターにお問い合わせください。

その他のトラブル

	症状	解説	参照ページ
リモコン	リモコンが操作できない	リモコンの電池が消耗していませんか?新しい電池に交換してから操作してください。	33
		リモコンが水濡れしていませんか?水濡れシールを確認してください。	9
	通信完了まで時間がかかる	本製品は、リモコン操作(電波送信)を行った後に車両側メインユニットからのアンサーバック信号が受信できなかった場合、自動的に再送信を試みます。この場合、通信完了までの時間が通常より長かかりますが異常ではありません。	—
	リモコンでエンジンを止めることができない	車両本来の方法でエンジンをかけている時は、リモコンでのエンジン停止は行えません。	—
	エンジンスターターの操作時、車両側はエンジンがかかるにも関わらず、リモコンへのアンサーバックが行われない	本製品のリモコンは、エンジンスターターの操作から約30秒間のみ車両からのアンサーバック信号を受け付けています。この間に何らかの原因によりアンサーバック信号を受信できなかった場合は、そのまま液晶表示を終了します。	14
	車内温度が表示されない	車内温度センサーの接続が確認できません。断線やかみ込みが無いが確認してください。	—
	車両側は正常に動作しているにも関わらずリモコンに「Err99」と表示される	リモコンから車両側への通信は正常に行われたが、車両側からリモコンへのアンサーバック信号が何らかの原因により受信できなかった事が考えられます。	14
	リモコン操作時、液晶ディスプレイが表示されるまでに時間がかかる	液晶の特性上、低温時の表示には多少時間がかかる場合があります。リモコン内部の温度が上昇すれば表示は元に戻ります。	—
	バックライトや液晶表示が暗くなったり不安定な状態になる	リモコンから電波を送信する時に電池電圧が低下してバックライトがちらつく場合がありますが、異常ではありません。	—
	リモコンの電池が消耗していませんか?新しい電池に交換してください。 また、低温になる場所にリモコンを置いておくと、一時的に電池電圧が低下してリモコンの表示が薄くなる場合がありますが、常温になれば元に戻ります。	33	

	症状	解説	参照ページ
エンジン スター ター 機能 について	エンジンスターターが作動しない	本体のヒューズが切れていませんか?配線を再確認してから新しいヒューズ(5A・別売)に交換してください。	—
		フットブレーキハーネスのヒューズが切れていませんか?配線を確認してから新しいヒューズ(15A・別売)に交換してください。	—
		ID登録が正しく行われていない可能性があります。再度リモコンIDの登録を行ってください。	34
		本体の設定スイッチ5(イルミ検出)が「検出する」(OFF側)に設定されていると、車幅灯やヘッドライトの点灯中はエンジンをかけることができません。ライトスイッチをOFFにするか、本体の設定スイッチ5(イルミ検出)を「検出ししない」(ON側)に設定してください。	32
		本体の設定スイッチ5(イルミ検出)が「検出する」(OFF側)に設定されていると、ドアが開いているときにエンジンをかけることができません。すべてのドアを閉めるか、本体の設定スイッチ5(イルミ検出)を「検出ししない」(ON側)に設定してください。	32
		フットブレーキが踏まれているときにエンジンをかけることができません。	—
		その他の原因の場合は「スターターでエンジンがかからないとき」を参照の上、確認作業を行ってください。	37
	エンジン始動時および停止時に、車両のストップランプが点灯する	プッシュスタート車は車両の仕様上、エンジンをかけるときにフットブレーキを踏む必要があるため、本製品でエンジンをかけるときにはフットブレーキ(テールランプ)部分の配線を電氣的に制御しています。このとき、車両のストップランプが約2秒間点灯しますが異常ではありません。	—
エンジン停止時に車両の室内灯が点灯する	車両によっては、車両の仕様上、エンジン停止後にルームランプが点灯します。 また、オートライト機能装着車で別売のオートライト車対応コードを接続している場合、本製品でエンジン始動後、エンジンが停止する時に車両の室内灯が10秒～1分程度点灯します。(点灯時間は車両の仕様により異なります)	—	
エンジンスターターによるアイドリング中、純正キーレスエントリーが作動しない	エンジンスターターでのアイドリング中は、純正スマートキーでドアロック/アンロックができなくなる場合があります。その際は、本製品のドアロック機能(別売のアダプターが必要)や純正スマートキー内臓のメカニカルキーを使うか、一度エンジンを停止してから純正スマートキーのドアロック/アンロックを行ってください。	—	

	症状	解説	参照ページ
その他の症状	通信距離が短い	リモコンの電池が消耗していませんか?新しい電池に交換してください。	33
		リモコンと車の間に電波を遮断する障害物が多いことが考えられます。特に金属物質は電波を通しにくく、通信距離を著しく縮めますので使用の際はご注意ください。	—
		本体のアンテナ部分先端が車両の金属部分(車両コンピュータユニットやハーネス類を含む)に近い場合は、通信距離が短くなります。金属部分から5cm以上離れるように取付位置を変更してください。	—
	ドアロック機能が使用できない	ドアロック機能はドアロック適合車種のみ使用可能です。また、ドアロック機能を使用するには別途ドアロック配線が必要となりますのでご注意ください。	—
		車両本来の方法でエンジンをかけている時は、本製品のドアロック機能でドアをロックすることはできません。(アンロックは可能です)	—
		ドアが開いているとドアロックモーターが作動しない車種がありますので、必ず全てのドアを閉めてからドアロックの操作を行ってください。	18
	スマートエントリー機能が動作しない	本製品のリモコンでエンジン停止後に、一旦スマートエントリー機能のドアロック操作を行い、3秒以上待ってからスマートエントリー機能のアンロック操作を行ってください。	15
	キーによるエンジン始動ができない	取付ハーネスがゆるんでいたり、本体が接続されていない場合、キーによるエンジン始動ができなくなります。接続が確実に行われているか確認してください。	—
	ドアを開けるとエンジンが停止する	荷物の積み降ろし時など、ドアを開けてもアイドルリングを継続したい場合は、本体の設定スイッチ5(イルミ検出)を「検出しない」(ON側)に設定してください。ただし、設定を切り替えてもフットブレーキが踏まれるとエンジンが停止するため、走行前に車両本来の方法でエンジンをかけ直す必要があります。	32
	エンジン停止後に車両のヘッドライトが点灯したまま消灯しない	車両のオートライト機能がONになっていませんか?別売のTE204オートライト車対応コードを使用せずにオートライト機能をONにして、エンジンスターターをお使いいただくと、エンジン停止後もヘッドライトが消灯しません。TE204を配線していただくか、エンジンスターター使用時はオートライト機能をOFFにしてください。	—
エンジン停止時にドアロックされる	車両のカスタマイズ設定を、「運転席ドアを開けた時に、全席アンロックされる」ように設定されていませんか?車両の取扱説明書を参照して設定を確認してください。	—	

	症状	解説	参照ページ
その他の症状	ドアをアンロックすると車両の純正ホーンが鳴る	純正のセキュリティアラームなどが装備されている車両の場合、純正キーレスエントリーなどでドアをロックした後、本製品でドアアンロックを行うと、純正セキュリティアラームが鳴る場合がありますが故障ではありません。 このような車両の場合、ロック操作とアンロック操作を同一のリモコンで行う必要があります。	—
	その他、動作が不安定な場合	取付ハーネスのゆるみがないか、また、アースコードが確実なアースポイントに接続されているか確認してください。(1つのアースポイントに複数のアースを集中して接続しないでください)	—

仕様

技術基準	特定小電力無線局テレコントロール用無線設備
使用周波数	429MHz帯(6チャンネル任意選択式)
通信方式	単信方式
送信出力	10mW
送信時間	40秒以内
送信休止時間	2秒以上

■リモコン

ユニット名	RM-F73
外形寸法	64.6×34.4×16.5(mm) (突起部除く)
重量	約28g
使用電池	CR2025×2ケ
電池寿命(新品時)	約1年
作動温度範囲	0℃～+60℃
補修パーツ	スベアリモコン TER-W7300 (税別¥12,191) 電池カバー TSP73BKBC (税別¥500)

■本体

ユニット名	PS-B
外形寸法	67×135×26(mm) (突起部除く)
重量	約125g
電源電圧	DC12V
消費電流(待機時)	約15mA(スリープモード付)
作動温度範囲	-20℃～+70℃

アフターサービスについて

商品についてのお問い合わせ・補修パーツのご注文は、下記サービスセンターへ。

カーメイトサービスセンター セキュリティ・スター専用ダイヤル
Tel:03-5926-1216(代表) Fax:03-5926-1218

パソコンまたは
スマートフォンから : <http://www.carmate.co.jp/support/>

補修パーツはコチラからもご注文いただけます
カーメイト公式オンラインストア楽天市場店

パソコンまたは
スマートフォンから : <http://www.rakuten.co.jp/carmate/>



サポート情報 楽天市場店

株式会社 **カーメイト** <http://www.carmate.co.jp/>
本社 〒171-0051 東京都豊島区長崎5-33-11

